

# 設計から組み立て、プログラミング制御までの一貫体制確立 省力化機械を通じて、人手不足解消を図る一翼担う

—ユキワ精工ユーザー訪問—

自動化、無人化への有効化ツールとして、省力化機械は欠かせない。1977年に設立された筑波エンジニアリングでは、顧客からの要望を具体化して、半自動装置から完全無人化ラインまで対応するFA提案で実績を積み重ねてきた。

営業技術担当の小田部さんは「装置ものの案件を受注して、当社で設計して(顧客に)承認いただき、図面を起こして加工・溶接を経て、組み立て、プログラム制御という社内一貫体制を確立している」との流れを説明してくれた。

装置は「品ものが中心のため、加工部品点数は様々。組み立ては他社が手がけ、部品だけの注文もある」そうだ。大槻社長は「省力化

自動化、無人化への有効化ツールとして、省力化機械は欠かせない。1977年に設立された筑波エンジニアリングでは、顧客からの要望を具体化して、半自動装置から完全無人化ラインまで対応するFA提案で実績を積み重ねてきた。

機械の需要は、一般的には自動車産業がメインとは言え、弊社の膝元である茨城県下では、様々な分野の製造業が混在し、業種は多岐にわたっている。そのため、弊社の強みに通じる幅広い需

要層への対応力が、当社の差別化力に繋がっていると考える」と補足す

れた」経緯もあり、「弊社でも切削加工を行っているため、ロボドリルの扱いやすさ、コストパフォーマンスの高さなどから取引商社の三五商事にオーダー。その際、ツーリングはロボドリルとの相性の良いスーパーG1チャック

語った。ファンクロボット設備は平面フライス盤の汎用機ほか、NC機

ミリ、φ10ミリ、φ20ミリ

ドリル担当となり、φ6

ミリ、φ10ミリ、φ20ミリ

1チャック21本が与えら

れた」と振り返しながら

「ほとんどがアルミ、ステ

ンレスの単品モノ加工で

現状は、まさにフル稼働

状態。効率を上げていく

ため、送りや回転速度を

上げても、いつさいビビ

ことはなく、トラブルに

結び付くような事態は

全く発生していない」と

の評価を下す。

筑波エンジニアリングは

目前に迫ってきたJIMTOFにも出展を予定

しており、11月8日から

の6日間は「省力化提案

ウェーク」となるだろう。



オペレーターの牧山徳之さん。ロボドリル担当として4年が過ぎた

「回転速度や送りを上げてもビビらない」

スーパーG1チャック21本を装填し、4年前から活用

—筑波エンジニアリング（茨城県・稲敷郡）—

多用な需要層への対応力が強み

では、三菱重工、ファナックのマシニングセンタが合わせて3台、ほかに、旋盤、研磨機などで構成されている。

ユキワ精工のスーパーG1チャックは、この現場では、4年前に導入されたロボドリル専用で活用されている。

「2009年ごろから、お客様向けにファンクロボットを使つた自動化を数多く手がるようになり、その中には、ロボドリルへのワークの供給をロボットで自動化して欲しいと言つた依頼も見受けられるようになつて

きた」

「経緯もあり、「弊社でも切削加工を行つて、そのため、ロボドリルの扱いやすさ、コストパフォーマンスの高さなどから取引商社の三五商事にオーダー。その際、ツーリングはロボドリルとの相性の良いスーパーG1チャック

JIMTOFにも出展

オンリーワンのFA装置を提案へ半自動装置から完全無人化ラインまで

がお勧め」との提案を受けたと、大槻社長は、エ



ロボドリルに特化して21本のスーパーG1チャックが活躍する



送りや回転を上げてもビビらないと言う

スー パー G1 チ ャ ツ ク  
高精度ツーリングシステム



**YUKIWA**

ユキワ精工株式会社

[スーパーG1チャック]

検索

<http://www.yukiwa.co.jp/>



ユキワだけ精度を保証しています!